

## ドバイ トラベルインフォメーション

### ビザ

日本人は、事前にビザを取得する必要なしにUAEへの入国が可能。滞在可能期間は30日、入国後さらに30日の延長も可能。空路、海路、陸路(オマーンから)でのいづれにも適用。パスポートの残存有効期限は6ヶ月以上必要。

### 言葉

英語が共通語として通じる(公用語はアラビア語)。

### 通貨 カード

通貨はUAEディルハム(Dh.) 1Dh = 約26円(2010年5月現在)。補助単位はフィルス。(1ディルハム=100フィルス) レートは場所によりまちまちだが、全体的にホテルの換金レートはあまり良くないので、市内やショッピングセンターの両替所の方がお勧め。日本円や米ドルなど、大半の通過が両替可能だが、トラベラーズチェックを換金する場合はパスポートの提示が必要。空港内の銀行には24時間オープンのところもある。クレジットカード(ビザ、マスター、アメックス、ダイナース等)も幅広く使える。日本国内では交換できないので、必ずドバイ出国時に再両替を済ますこと。(日本円の在庫がない場合、USドル等へ両替する事)

### 税関

お酒類は4リットル(大瓶4本)、タバコ400本の持ち込みOK。個人の携帯品の持込に関しては制限なし。香水またはその他のギフト総額は3000Dhまで、通貨は4万Dh以下 持込禁止は麻薬、ポルノ、銃器類。

### シーズン 気候 服装

年間を通じて晴れの日がほとんどで、冬季に少し雨が降るが、降雨量はかなり少ない。10月から3月が冬にあたり、朝晩は比較的涼しいのでベストシーズンと言われる。夏は4月から9月までで、気温・湿度共にかなり高くなる。イスラム教の教義では、女性は公衆の面前で肌を露出することは出来ない。ドバイは比較的オープンな国柄ではあるが、あまり極端に肌を露出する服装は避けること。なお、11月から2月にかけては朝晩用にカーディガンなど軽くはおれるものを持って行くのがお勧め。しかし、年間を通じて日中は暑く紫外線も強いので、外出時には帽子やサングラスを持って行くこと。また水分補給のためミネラルウォーターなど持ち歩いた方がよい。

### チップ

ホテルでの枕銭、ポーターなどに渡すチップは1回あたりDh5～10前後が相場。レストランでのチップは、サービスチャージが含まれていれば不要だが、含まれていない場合は合計金額の10%前後を目安とするとよい。送迎の運転手には二人でDh10程度、観光・サファリなどの運転手には二人でDh15～20程度が目安。タクシーの運転手へのチップは原則不要。

### アルコール

イスラム教の教義上公式的には禁止だが、ほとんどのホテルやごく一部の市内レストラン(ハードロックカフェやプラネットハリウッドなど)は許可書を持っており、お酒を飲みながらの食事を楽しむことが出来る。(基本的に、ほとんどの市内レストランでは許可書を持っていないため、お酒は飲めない)

### 営業時間

イスラム教では金曜日が休日となる。商店やショッピングセンター、市内のレストランなどは、午後4時ころからしか開店しない。  
ショッピング 土曜日～木曜日 10:00-13:00 16:30-22:00 / 金曜日 16:30-22:00 \*店によって若干異なる  
ただし、モールオブザエミレーツや¥フェスティバルシティなどの大きなショッピングセンターは平日(土曜～木曜)は休みなしで10:00-22:00まで通しで営業している。週末(木・金・土)は24時まで営業。  
市内レストラン 土曜日～木曜日 12:30-16:00 19:00-24:00 / 金曜日 16:00-24:00  
これ以外の時間帯は営業していないレストランが多いので、その際はファーストフードやショッピングセンター内のフードコート、ホテル内のレストランなどを利用すること。

### 交通手段

大半のビーチホテルといくつかのシティホテルではショッピングセンター行きの無料バスを運行している(要ホテル確認)  
市内での移動は原則メーター付きタクシーの利用となりますが、稀にメーターなしのタクシーもあります。  
トラブルを避けるため、メーター付きのタクシーをご利用下さい。  
ホテル前、ショッピングセンターの乗り場で待機しているタクシーはメーター付きタクシーです  
どの会社のタクシーも初乗りがDHS3で(夜間はDHS3.5)ジュメイラ地区のホテルから市内まで約DHS40-50程度です。  
バスもありますが、時間が不規則だったり、ルートも分かりにくいのでお勧め致しません。

レンタカーは、エアビス、ハーツ等あり、国際免許証で利用できる(車の運転は日本と違い左ハンドル)。

### 写真撮影

一般写真撮影は自由。軍事施設や人物とくに女性の至近撮影は、許可を得てから。

### 通信設備

世界最先端レベルにある。携帯電話をはじめ、インターネット通信も広く普及している。市内通話は無料だが、ホテルの部屋内からかけるとホテルのサービスチャージがかかるので要注意。ホテルのフロントやコンシェルジュにお願いするとその場で無料で電話を貸してくれる。050から始まる携帯電話への通話は有料。公衆電話はテレフォン・カード(スーパーマーケットや商店のレジで購入可)で。パソコン通信のための電話回線差込ジャックは日本・世界共通の型。

### 電気器具

電圧が220ボルト(50サイクル)で、ヨーロッパ仕上の製品は使用できるが、日本国内用のものはトランスフォーマーが必要。プラグはB F型(英国で一般的な3本ピンのもの)。

### 飲料水

水道水も飲料可。ミネラルウォーターも国産品があり安価で一般的。

### 時差

グリニッチ標準時より4時間先、日本より5時間遅れ。(日本が正午12時の時、ドバイは朝7時)

### 宗教

イスラム教は、「5柱」と呼ばれる下記の教えが基本

1. 信仰 絶対唯一のアッラー以外には神はいない
2. 礼拝 1日5回(夜明け 昼過ぎ 午後 日没 夜半過ぎ)
3. 喜捨 年収の40分の1を金銭もしくは物品で貧しい人に分け与える
4. 巡礼 一生に一度は聖地メッカに巡礼に行く
5. 断食 太陽暦の9月に行われ、日中は飲食や喫煙、性交が禁じられる。この期間中は、基本的に外国人もアルコールを飲むことが出来ない。

### ラマダン

ラマダンの時期は、約1ヶ月続く。

この期間中はイスラム教徒以外も日中、野外での喫煙や飲食(ガムやあめも含む)を禁じられている(部屋の中であれば問題ない)。また、ダンスや音楽などのエンターテイメントも禁止となるので、この期間中のデザートサファリにはベリーダンスや音楽などが無い。ショッピングセンターや商店、市内のレストランなども日中は閉まっており、日没からのみ開店するが、その分通常に比べて遅くまで店を開けている。

ホテル内のレストランであれば日中も一部のみ営業をしている。  
2010年度のラマダン:8月10日から1か月の予定

### =注意事項=

1. イスラム教は偶像崇拝をしないため、写真に残る事を嫌う傾向にあります。  
無用なトラブルを避けるため、現地のイスラム教の人々を写真に撮ることは避けて下さい。特に”女性を隠す”宗教のため、女性を撮影するのはおやめ下さい。その他、空港や政府の建物、軍施設、石油関連施設、王族の家なども撮影禁止です。
2. モスクへは原則的にイスラム教徒しか入れません。
3. 比較的治安は良好ですが、スークやショッピングセンターなど、多くの人が集まる場所では手荷物にご注意下さい。